



竜中だより

校訓 自律 協力 創造 勤勉

NO. 1

令和 5 年 4 月 11 日発行

学校ホームページ



<http://ryuyo-j.city-wata.ed.jp/>



令和 5 年度 学校職員

1 年間 よろしくお願ひします

	主任	1 組担任	2 組担任	3 組担任	4 組担任	5 組担任	学年付	学年付	学年付
1 年	村松明子(国)	神田祐司(数)	江塚琴葉(社)	藤野祐基(理)	佐藤 瞳(数)	高橋卓也(体)	平野政敏(技)	樽林恵美(英)	
2 年	鉄田啓介(英)	岩倉由起(家)	鈴木 修(体)	能海 徹(数)	鈴木幸恵(国)	大石紘平(社)	大庭康紀(理)	山下 泰(美)	
3 年	平野美砂(体)	夏目優人(数)	青島孝章(社)	伊藤玲子(音)	野田 巧(英)		川嶋 総一郎(理)	甚沢大二(数)	萩田純子(国)
特別支援	7 組 青木正文(社)	8 組 影山健作(理)	9 組 水谷全宏(数)		心の教育相談員 佐伯文代	教育支援員 平野直美	教育支援員 鈴木晴美	学び方サポーター 磯部恭子	
学年外	校長 鈴木秀幸	教頭 小杉友祐(体)	教務 石川史江(英)	生徒指導 柏木容子	養護教諭 大倉志歩	栄養教諭 鈴木ゆり絵	事務主任 石貝宏美	市事務 鈴木 香	用務員 天野泰義
学年外	SC 松永倫和	SSW 松本朱美	外国人支援員 森西尊子	外国人相談員 袴田真由美	外国人相談員 大庭ズエルマ	ALT ナガノターラ	CSD 木村眞由美	SSS 庄古由記美	図書支援員 高野直子

令和 5 年度がスタートしました。竜洋中学校では昨年度に引き続き、『未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成 ～持続可能な社会の担い手を育む～』という学校教育目標を掲げ、「気づき、考え、行動する生徒」を、生徒一人一人が「志」をもち、自分の未来に向かって進んでいけるよう、保護者や地域の皆様と力を合わせながら育てていきたいと考えています。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

○始業式・入学式

4 月 7 日（金）午前中に始業式を行い、令和 5 年度がスタートしました。久しぶりの友達や先生方との会話に、生徒たちからはたくさんの笑顔が見られました。式では、各学年代表生徒の決意表明、校長先生のお話や教科書授与に続いて、お待ちかねの学級担任、部活動顧問の発表がありました。学級担任や部活顧問の名前が発表されると、生徒からは拍手やガッツポーズが見られ、とても温かい雰囲気になりました。新しい学年で、新たな学級担任や部活顧問、新たな仲間と、居心地のよい環境を作りながら、素晴らしい 1 年にしていきたいと思います。

午後は入学式を行いました。本年度の入学生は 1 4 6 名。大きめの制服に身を包み、期待に胸を膨らませながら、緊張感のある素晴らしい態度で式に臨むことができました。1 日も早く中学校生活に慣れ、竜中生として自分らしさを発揮して頑張る姿が見られることを期待しています。

（新任式・始業式）



（入学式）



始業式 式辞

今年も、この学び舎に春がやってきました。校庭の木々には、萌黄色の鮮やかな若葉が芽吹き始め、私たちの目を楽しませてくれます。

今日、ここに磐田市立竜洋中学校の令和5年度がスタートしました。午後に入學する1年生146名を入れた444名の生徒と、50名の先生方とが、竜洋中学校を昨年度以上の素晴らしい学校にするために力を合わせる日々が始まります。

皆さん一人ひとりが新年度に向けて気持ちを新たに、希望を胸に抱いていることと思います。今日から新しいクラスメイトとの生活、新しい先生方との生活が始まります。新しい環境となり、新しい出会いがあります。この出会いを大切にしてください。一日一日、一瞬一瞬の積み重ねが未来のあなた方をつくります。昨日の自分と今の自分は違う自分、今日の自分と明日の自分は違う自分なのです。今日という日は二度と来ないので、一日一日を愛おしみ、今を生きる自分を愛おしんでください。

「かけがえのない命を精一杯生きること」

これは磐田市の子どもたちが進むべき方向を示すものとして作成された「『磐田の教育』道しるべ」中の言葉です。あなた方の命は、ご両親から授けられたかけがえのないものなのです。

さて、竜洋中学校の学校教育目標は今年も「未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成 ～持続可能な社会の担い手を育む～」です。

「私は将来、相手のことを思いやりながら行動できる人になりたいです。」「私には音楽で人を笑顔にしたいという夢があります。」「この世の中にはいろいろなことで困っている人がいるので、その人たちの役に立てるような人になりたいです。」

これらは、3年生の皆さんが2年生の時に掲げてくれた将来の夢や目標です。この他にも3年生の皆さん一人一人が素晴らしい夢や目標を掲げてくれました。これまで皆さんが「志（こころざし）」を大切に「気づき・考え・行動する」ことを意識して中学校生活を送って来てくれたことが感じられて嬉しく思います。このような皆さんの姿こそ「未来を切り拓く 心豊かな生徒」の姿であり「持続可能な社会の担い手」としての姿なのです。

皆さんがこれから生きていく未来は、変化が激しく、予測が難しく、誰もが納得できる「正解」を求めることが容易ではない時代であると言われています。そんな時代に生きる皆さんだからこそ、たくましく未来を切り拓いていける人になってほしいと願っているのです。様々な課題にしっかりと向き合い、ものごとを多面的な視点でとらえることができる人、仲間とともに手を取り合いながら解決方法を導き出すことができる人、そして、身に付けた知識や技能を活用しながら解決し、よりよい未来を創造することができる人、そんな素敵な人を目指してください。

皆さんが、志を抱き、自ら気づき、考え、行動できるようになり、持続可能な社会の担い手として未来を切り拓くことができる、心豊かな、素敵な人へと成長してくれることを願い、式辞といたします。



令和5年4月7日

磐田市立竜洋中学校長 鈴木秀幸

入学式 式辞

校庭の木々には、萌黄色の鮮やかな若葉が芽吹き始め、私たちの目を楽しませてくれています。この豊かな岡に、また命が輝く春が訪れました。その善き日に、
磐田市教育委員会中央図書館長補佐 高杉 順也 様

P T A 役員の皆様のご臨席を賜り

令和5年度 磐田市立竜洋中学校、入学式を執り行えますことは、この上ない喜びでございます。心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、146名の新入生の皆さん、御入学おめでとうでございます。心からお祝い申し上げます。新入生の皆さん一人一人が今日から始まる中学校生活に向けて気持ちを新たに、希望を胸に抱いていることと思います。今日から新しいクラスメイトとの生活、新しい先生方との生活が始まります。新しい環境となり、新しい出会いがあります。この出会いを大切にしてください。一日一日、一瞬一瞬の積み重ねが未来のあなた方をつくります。昨日の自分と今の自分は違う自分、今日の自分と明日の自分は違う自分なのです。今日という日は二度と来ないので、一日一日を愛おしみ、今を生きる自分を愛おしんでください。

「かけがえのない命を精一杯生きること」

これは磐田市の子もたちが進むべき方向を示すものとして作成された「『磐田の教育』道しるべ」の中の言葉です。あなた方の命は、ご両親から授けられたかけがえのないものなのです。

さて、竜洋中学校の学校教育目標は「未来を切り拓く 心豊かな生徒の育成 ～持続可能な社会の担い手を育む～」です。そして「気づき、考え、行動する」という行動指針があります。皆さんがこれから生きていく未来は、変化が激しく、予測が難しく、誰もが納得できる「正解」を求めることが容易ではない時代であると言われています。新型コロナウイルス感染症の世界的流行、ロシアによるウクライナ侵攻、トルコで発生した巨大地震の被害など、世界各国で社会、経済、環境に深刻な影響を与える問題が多く発生し、人々がその対策のために知恵を出し合い、努力を続けています。このような時代にあって皆さんに身に付けてほしいのは、様々な課題にしっかりと向き合い、ものごとを多面的な視点でとらえ、仲間とともに手を取り合いながら解決方法を導き出すこと。そして、身に付けた知識や技能を活用しながら解決すること。それによって、よりよい未来を創造することです。このような生徒の姿こそ「未来を切り拓く 心豊かな生徒」なのです。このような姿を理想とし、自ら「気づき、考え、行動する」ということを意識した生活を心掛けてください。

皆さん一人一人の未来には、皆さんでなければなしえない、活躍の場が待っています。それがどのようなステージであるかは、今はまだ誰も分かりません。皆さんの未来には無限の可能性が広がっているのです。しかし、時には、迷ったり、悩んだり、自信を失ったりする時もあるのではないかと思います。そんな時には、ここにいる先生方を頼ってください。また、ご家族を頼ってください。友達や上級生を頼ってください。あなた方は一人ではありません。私たち竜洋中学校の先生方は、皆さんを心から歓迎し、全力で支えます。上級生も、きっと大きな支えとなってくれるはずですよ。

保護者の皆様、本日は、お子様の御入学、誠におめでとうでございます。

学校は、子どもたちを、社会の中で自立できるよう育てるところです。しかし、それは私どもだけでは十分ではありません。なにとぞ、保護者の皆様の御理解と、お力添えをお願いいたします。お子様は、これからの中学校生活、さらにその先の進路において、時には辛いことや苦しいことに出会うこともあります。お子様を、これまで同様しっかりと見守っていただきながら、お子様の力を信じ、自立を応援して下さることを重ねてお願い申し上げます。

新入生の皆さん、皆さんが、これから一日一日を大切に、すばらしい中学校生活を送ることができることを期待して、式辞といたします。

本日は誠にありがとうございます。



令和5年4月7日
磐田市立竜洋中学校長 鈴木 秀幸